



更級分教室の活動

更級農業高校の敷地内になる高等部の更級分教室では、作業学習でビルメンテナンスを行っています。日頃の作業学習や現場実習で身につけた技術の校外作業実習の一環として、ながのコロニー・長野技術専門校・篠ノ井交流センター・篠ノ井幼稚園・更級農業高校・やすらぎの園（老人ホーム）・千曲市社会福祉協議会等の施設で、窓清掃や床の洗浄・ワックスがけをさせていただいています。ポリッシャーやバキューム等の専用機器も使った作業であり、丁寧さが求められる根気のいる作業ですが、一生懸命取り組んでいます。施設の方々からも丁寧な作業の姿を認めていただき、生徒たちにとってもやりがいのある活動になっています。



千曲市ふれあい福祉センターの清掃

今年度最後の参観日がありました



小学部は2月4日、中学部は2月19日、高等部は2月21日に今年度最後の参観日がありました。日頃の学習の様子を参観していただき、図工や美術で作った作品や書初めの展示も見ていただきました。

小学部4年生は「10歳を祝う会」を行いました。一人一人に証書が手渡され、小さい頃の写真をみんなで見たり「虹」の歌をみんなで歌ったりして、保護者の皆様と10歳を祝いました。10歳という一つの節目を迎えられたこと、保護者の皆様の思いもひと

しおかと思います。子どもたちの小さい頃の写真を見ながら、これからも我々学校職員一同、保護者の皆様と「一緒に」子どもたちの成長に携わっていきたくと改めて感じました。

技能検定「喫茶部門」がありました

長野県の特別支援学校では、高等部生徒の「働く意欲」と「働く力」を高めるために、特別支援学校技能検定に向けた学習に取り組んでいます。2学期には、長野養護学校すぎか分教室にて「清掃部門」の検定が行われ、本校からも分教室の生徒を含め13名が参加しました。検定種目は、テーブル拭き・自在ぼうき・モップ・スクイジーの4種目でした。また、「食品加工〈基礎〉部門」も本校を会場に行われ、ポテトサラダを手順に添って作る活動に5名が参加しました。2月12日には、THE SAIHOKUKAN HOTEL を会場に「喫茶サービス部門」が行われ、10名の生徒が参加しました。これらは、事前学習の段階からご協力いただいた企業の方々が審査員となり、10級から1級まで認定していただきます。この技能検定は生徒たちの励みになっており、一生懸命練習を積み重ね本番に臨む姿は、とても凛々しく頼もしいです。また、地域の企業とのつながりにもなり特別支援学校の生徒を広く知っていただく機会にもなっています。こういった機会を大切に、日々の生活や卒業後の生活の充実につなげていけるといいです。

